

「消防団員入団促進キャンペーン」の実施

消防庁では、例年、1月から3月までの間を「消防団員入団促進キャンペーン」期間と位置付け、全国の地方公共団体等と連携し、消防団への入団促進に係る広報の全国的な展開を図っています。

今年度も、令和3年1月から3月までの同キャンペーン期間において、以下の取組を実施します。

なお、ポスター等には、消防団応援サポーターとして、タレントの稲村亜美さんを起用し、若者を中心とした入団促進を図ります。

【取組事項】

- ポスター、リーフレット、動画、広告等を活用した広報活動の実施（別紙1参照）
ポスター等を全国の地方公共団体等に配布し、各種イベントにおいて、当該ポスター等も活用した広報活動が展開される予定です。併せて、消防庁としても、駅や公共施設等へのポスター掲示、ファミリーレストランにおける宅配同梱配布、インターネット広告などを実施します。
なお、ポスター等には、消防団応援サポーターとして、タレントの稲村亜美さんを起用し、若者を中心とした入団促進を図ります。
- 消防団充実強化取組事例の紹介（別紙2参照）
全国において消防団の充実強化を図るため、消防団の充実強化に向けた各地域の取組事例を収集し、消防庁ホームページにおいて情報提供を行っています。同キャンペーン期間中も、取組事例を募集し、順次掲載します。
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/torikumi-jirei/>
- 「消防庁-女性活躍-Facebook」や「消防庁 Twitter」による情報発信
「消防庁-女性活躍-Facebook」、「消防庁 Twitter」を通じ、女性消防団員の活躍や消防団に関する情報を随時発信しています。同キャンペーン期間中も「消防庁-女性活躍-Facebook」等を活用した情報発信を行い、入団促進を図ります。
(消防庁-女性活躍-Facebook) <https://ja-jp.facebook.com/Josei.FDMA.JAPAN/>
(消防庁 Twitter) https://twitter.com/fdma_japan

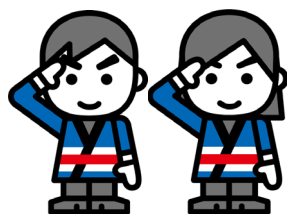
○ 消防団 PR ムービーコンテストの実施

本年に続き、住民の方々に、消防団をより身近なものとして知っていただくため、各都道府県及び市町村から作品を募集し、コンテストを実施します。

過去の入賞作品等は、消防庁ホームページ及び消防庁動画チャンネルに掲載しています。

(消防ホームページ) <https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/movie/>

(消防庁動画チャンネル) <https://www.youtube.com/channel/UCdjKaS60W5FQ5ckSj1vrGmw>



【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

藤ノ木理事官、伊籐係長、安藤事務官

TEL : 03-5253-7561 FAX : 03-5253-7576

E-mail : syobodan@ml.soumu.go.jp

令和2年度「消防団員入団促進用ポスター・リーフレット」

○ポスター

一般・女性・学生向けを制作



○リーフレット

一般・女性・学生・企業向けを制作

消防団について

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らを守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

消防団員と消防職員の違いは？

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。一方、消防職員は、専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。

消防職員	約16.5万人
消防団員	約83.2万人
自主防災組織員	約4436万人

市町村 消防団

消防職員 (常勤消防員) 消防団員 (非常勤特別職の地方公務員)

女性のあなたもまちを守る消防団で輝きませんか？

消防団の主な活動について

消火・防災訓練
火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。また、非常時で消防団員が活動するまでの取組手帳やAEDの使い方等を指導する講習会を行っています。

自主防災組織
万が一に備えて、救急車が到着するまでの取組手帳やAEDの使い方等を指導する講習会を行っています。

防火啓発活動
各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園などでの防火教育等の啓発活動を行っています。

災害時の活動
火災発生時には、自宅や職場から現場へ駆けつけます。消火活動、後方支援など、その場に応じた活動を行います。

捜索・救助活動
大規模災害発生時等に地域をよく知る立場から、捜索と支援を担って、捜索・救助活動、支援活動を行います。

水防活動
台風などの暴風雨の際は、河川の水の増減、土のうづくり、土のう積みのほか、暴風、浸水防止などに迅速に対応します。

ここがポイント!

- 働きながらでも地域に貢献できる!
- 参加しやすいさまざまな制度がある!
- 性別・職業問わず活躍の場がある!

対談インタビュー 稲村亜美 × 消防団員

自分たちのまちは自分たちで守る。自分たちが守る。このまちに恩返しをしたい。

空いた時間に活動できる

稲村: 消防団に入った理由を教えてください。

消防団員: 普段は市内のホテルで働いているのですが、入社2年目の年に県内消防訓練大会に出場しました。その場で、先輩の女性団員の方に声を掛けていただいたことが興味が持たせかけです。団員の皆さんがキラキラした笑顔で楽しそうに活動していたのが印象的で入団しようと思いました。

稲村: 消防団は男性のイメージが強いですが、不安はありませんでしたか？

消防団員: シフト制の仕事なので活動にしっかり参加できるかなという不安はありませんでした。でも、平日の夜や土日の昼間といった自分の空いた時間に活動できるのが安心しました。訓練も月1回で、個々の能力に合わせてできるので、思ったほどきつくはないですよ。

「強い消防団」をつくる

稲村: 「まち」に対する意識って変わりましたか？

消防団員: 活動するうちに「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いが強くなりました。先輩や仲間、フォローしてくださる職員の皆さんと一緒に「強い消防団」を作って、もっとこのまちに貢献していきたくてです。

稲村: 選手さんにとって消防団はどんな場所ですか？

消防団員: 消防団は「まちを守りたい」という人たちが同じ目標に向かって活動しているの、お互いを高め合うことができます。そんな仲間がたくさんできたことは私の財産です。

稲村: いいことだらけですね。同じ女性としてこれからも応援しています!

消防団員: はい。ありがとうございます。市民の方から感謝の言葉をいただいた時はうれしかったですね。

分団長として団員の先頭に

稲村: 消防団ではどのような活動をされていますか？

消防団員: 31名の女性分団員を率いる分団長として、地域の方々に向けての救命講習の指導やイベントでの啓発活動、幼稚園や保育園での防災訓練などを行っています。年々も生活スタイルも違う団員を一つにまとめるのは大変ですが助け合いながら頑張っています。

稲村: 東日本大震災の際は、仮設トイレに水を貯める作業のお手伝いをしました。市民の方から感謝の言葉をいただいた時はうれしかったですね。

画面には、入団方法や補足の情報が載っています。ぜひご覧ください。

※以下URLより、全てのポスター・リーフレットを閲覧できます。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/data/pr/>

消防団 PRツール 検索

消防団充実強化取組事例



消防団充実強化取組事例

○全国において消防団の充実強化を図るため、各地域における消防団の充実強化を図る取組事例を収集し情報提供します。
 ○取組事例を登録する場合は、登録簿式に記載のうえ、下記のメールアドレスに提出してください。
 提出先メールアドレス: syobou@ml.soumu.go.jp
 登録簿式(wordファイル)

消防団充実強化取組事例(都道府県別)

- NEW 栃木県の情報を更新しました(令和2年11月27日)
- NEW 福島県の情報を更新しました(令和2年11月13日)
- NEW 岐阜県恵那市の情報を更新しました(令和2年9月)

消防団充実強化取組掲載事例一覧表

北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
北陸	新潟県 富山県 石川県 福井県
中部	山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 和歌山県 奈良県 和歌山県
中国	鳥取県 島根県
四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長門県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

分野一覧

- 加入促進関係 (1)女性関係、(2)若者関係(大学生含む)、(3)公務員関係、(4)機別団員・機別
- 処遇改善関係 (1)消防団広域構の団員関係、(2)その他
- 装備関係 (1)装備材関係、(2)その他
- 教育訓練 (1)自主防災組織等に対する指導、(2)他機関との連携、(3)その他
- 事業防関係 (1)消防等関係調査関係、(2)自衛消防組織関係、(3)経済団体関係、(4)協力事業
- その他

【掲載例】

消防団充実強化に係る取組事例

NO.	21-8	分野	2. 装備の充実 (3) その他	作成年月	令和2年 9月
地方公共 団体名	岐阜県 恵那市	担当課	消防本部 消防課		
連絡先	Tel 0573 - 26 - 0119 E-mail syobou@city.ena.lg.jp				

タイトル

大規模災害分団の創設と オフロードバイク導入による加入促進

取組の概要

恵那市では、災害発生時の情報収集部隊として、ドローン部隊(基本団員)及びバイク隊(機能別消防団員)を編成しており、令和2年度には、大規模災害発生時の情報収集能力の向上を図るため、各分団に所属しているドローン部隊とバイク隊を編入し、「大規模災害分団」を創設します。この大規模災害分団の創設により、これまでドローン部隊とバイク隊で別々に実施していた訓練を合同で行うことで、実災害発生時により連携の取れた活動の実現が期待されます。

また、大規模災害分団の創設に伴い、大規模災害発生時に災害情報の収集や記録、安否確認の対応を早期に実施とすることを目的として、「消防団用オフロードバイク」の導入を予定しています。道路に被害がおよび緊急車両が走行困難な状況においても、オフロードバイクの活用により、災害状況の収集を効率的に行い、いち早い災害対策本部への被害状況と災害記録の提供を行うことができます。

バイクやドローンの愛好家や消防職団員OBとの積極的な情報交換を行い、災害発生時の消防団活動の大切さを伝えることで、大規模災害団員を含む消防団への加入促進を進めていきます。

○令和2年度導入オフロードバイク(2台)

